

甲斐市版次世代型モビリティシステム構築プロジェクトについて

1. 甲斐市版次世代型モビリティシステム構築プロジェクト

(1) 事業概要

市民バス利用率の低迷や公共交通を取り巻く経営環境の悪化を受け、電気自動車等新技術を活用した産官学民の共創による持続可能な地域公共交通モデル(甲斐市版次世代型モビリティシステム)の構築を目的に、「共創による地域公共交通形成支援事業(共創モデル実証プロジェクト)」※を活用して次の3つの実証実験を行う。

※交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域の多様な関係者との「共創」(連携・協働)により、その維持・活性化に取り組む実証事業に要する経費を国(国土交通省)が支援(補助率 2/3、上限 1 億円)するもの。

(2) 実証実験の概要

① AI オンデマンド交通の実証運行

市民の移動手段を確保するため、次のとおり AI オンデマンド交通の実証運行を行う。

運行地域：竜王全域及び敷島、双葉の一部地域(実証運行未実施の地域)

運行期間：令和 5 年 11 月 1 日(水) から 12 月 22 日(金)まで

運行時間：7時から17時

利用料金：無料(実証運行のため)

その他：運行ルール等の詳細は、運行事業者や AI オンデマンドシステム提供事業者等と協議し決定する。

② 事業者等のスポンサー化による新たな収益の創出

持続可能な公共交通の運行を確保するため、次のような取り組みを行う。

- ・ 停留所設置料や停留所マップへの広告掲載料の募集
- ・ 輸送協力支援金(事業者が、人・モノの輸送実績に応じて運賃を支払う)
- ・ クラウドファンディング等による資金調達

③ モビリティハブの整備

外出機会の創出と観光客等来訪者の移動利便性向上を目的に、公共交通の乗継拠点となる空間(モビリティハブ)の整備を行う。

【モビリティハブの候補地と整備内容】

No.	施設名	整備内容
1	甲斐市役所竜王庁舎	①待合スペースの設置 ②タブレットやディスプレイによる運行状況の確認、乗換アナウンス、AI オンデマンド交通の予約代行
2	敷島図書館	
3	JR 竜王駅	
4	Kai・遊・パーク	
5	ラザウォーク甲斐双葉	
6	サントリー登美の丘ワイナリー	③公共交通利用者利への割引や特典の付与 ④待合スペースにおける催しの実施(乗継時間の消費)
7	シャトレーゼ ベルフォーレワイナリー	
8	敷島醸造	

2. 共創による地域公共交通形成支援事業への応募について

(1) 事業名

甲斐市版次世代型モビリティシステム構築プロジェクト

(2) 事業実施主体

① 事業実施主体(共創プラットフォーム)

甲斐市地域公共交通会議

② 運送事業主体

甲斐市地域公共交通会議

※山梨交通(株)をはじめとした市内交通事業者の運行委託

③ 共創パートナー

甲斐市、甲斐市商工会、ラザウォーク甲斐双葉、(株)フィッツ、サントリー登美の丘ワイナリー、シャトレーゼベルフォーレワイナリー、敷島醸造

(3) 事業内容

1. 甲斐市版次世代型モビリティシステム構築プロジェクトのとおり

(4) 事業費

補助対象経費：50,740,000円

補助申請額：33,826,666円(補助対象経費の2/3)

(5) 採択結果

令和5年7月4日付けで採択される ※交付上限額：33,826,666円

(6) 事業年度スケジュール

内容 \ 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
補助金交付申請	→							
実証実験準備	→	→	→	→				
広報・PR		→	→	→	→	→		
実証事業実施					→	→		
効果分析					→	→	→	→
実績報告								→

※応募内容の詳細は資料1-2を参照